

俳句を写真画像と共に楽しむ <奇数月28日発刊>

しゃらくかい 写楽回会

令和5年 冬の号 [vol.84]
(11・12月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2023 Sharakukai



写真:テムズ川にて 陽閑

冬(11・12月)の兼題「鳥」 出題:陽閑

写真俳句の部

(掲載ランダム)



深川は秋暁 鳥啼き交わす

しゅうぎょう
深川は秋暁 鳥啼き交わす

(季語:秋暁=秋)

福来雀

[去年の今頃、早朝の深川体験です。]



冬鴟のたりと留まり氷川丸

冬鴟のたりと留まり氷川丸

(季語:冬鴟=冬)

iSAMU

[横浜山下公園に係留されている氷川丸は、1930年進水し幾多の危機を乗り越え、93歳の艦齢です。]



鈍色の濠の白鳥白冴えて

にびいろ ほり
鈍色の濠の白鳥白冴えて

(季語:白鳥=冬)

久芽



梟の眼悪意の有りや無し

まなこ
梟の眼悪意の有りや無し

(季語:梟=冬)

池福楼



短日に群れ交う鳥のショータイム

短日に群れ交う鳥のショータイム

(季語：短日=冬)

陽閑



ひよ飛来目白ニ・三羽蹴散らして

ひよ飛来目白ニ・三羽蹴散らして

(季語：ひよ[鶉]=秋)

昼寝覚

[可愛い目白が餌をついばんでいるところ、大型のひよ鳥が急襲、慌てて目白は逃げていきました]



小春日やすずめ家族で昼享受

小春日やすずめ家族で昼享受

(季語：小春日=冬)

きょうじゅ

千泉



なき声は
ヒツヒツカタカタ
ジョウビタキ

なき声はヒツヒツカタカタジョウビタキ

(季語：尉鷯〈ジョウビタキ〉=秋)

梵木



浮寝鳥ぶかりぶかりと身をゆだね

浮寝鳥ぶかりぶかりと身をゆだね

(季語：浮寝鳥=冬)

うきねどり

準坊

俳句の部

(掲載ランダム)

いてする
凍鶴やシベリアの風恋しけり 池福楼 (季語:凍鶴=冬)

冬の蠅花鳥諷詠刹那かな 陽閑 (季語:冬の蠅=冬)

日溜まりに落ちるがごとく寒雀 準坊 (季語:寒雀=冬)

一列に白鳥つぎつぎ着水す 昼寝覚 (季語:白鳥=冬)

ぼさんみち こ
墓参路亡き娘が待つや鳥歩く マム (季語:墓参=秋)

秋空やトビの鳴き声高々と 千泉 (季語:秋空=秋)

ちょうずや
手水舎につばさ清めか冬雀 久芽 (季語:冬雀=冬)

かしましや小春日和の雀たち 福来雀 (季語:小春日和=冬)
[久々の陽気に生垣が賑やか]

ヒヨドリはピーヨピーヨイ秋さむさ 梵木 (季語:鶉・秋さむさ=秋)



葛飾北斎「芙蓉に雀」

季語抜粋

短日 (たんじつ) = 秋分を過ぎると、すこしずつ昼の時間が短くなり、冬至のころには極限に達する。

一日がたちまち過ぎてしまう気ぜわしさがある。【冬】

刷鶉 (じょうびたき) = 刷鶉は雀ぐらいの大きさで、腰と尾が錆赤色で美しく、黒い翼には大きな白い斑があるので「紋付鳥」ともいう。森・畑地・庭園などにも多く、尾を上下に振って鳴く。【秋】

冬の蠅 (ふゆのはえ) = 冬の暖かい日、日だまりにじっと止まっている蠅をみることがある。【冬】

墓参 (ぼさん) = 盂蘭盆に祖先の墓に参って、香花をたむけること。盆の行事の一つとして秋の季語となっている。【秋】

小春日 (こはるび) = 旧暦十月の異称。小春日・小春日和は、立冬を過ぎてからの春のように暖かい晴れた日のこと。「小春風」「小春風」「小春空」などとも用いられる。【冬】

寒雀 (かんすずめ) = 冬雀・ふくら雀。人家近く棲む雀は特に冬場は餌を求めて庭先までやってくる。寒い時に羽の中に空気を入れて膨らんでいる姿をふくら雀という。【冬】

浮寝鳥 (うきねどり) = 鴨やおしどりなど、大部分を水上で過ごしている鳥を総称して水鳥といい、水に浮いたまま眠っている鳥を「浮寝鳥」という。【冬】

福来雀

あの世友だんだん増えて年の暮れ [ママ友、パパ友、そして……]

千泉

ゴミ出し日人とカラスの知恵くらべ [カラスに追われないように]

蓮舫の舌鋒きらう大臣群 [蓮舫ガンバ!]

準坊

もくろみの増税眼鏡ピントずれ [焦る総理]

人道をお前が言うかプーチンよ [イスラエル・ゴザ紛争で発言]

ガザの子の目が見れるのかネタニヤフ [非人道のジェノサイド]

陽閑

願をかけ鳥居石あげ跳ね戻り [願掛けにも色々ありますね]

照足らぬソーラー噴水哀れチヨロ [日照不足のせい?]

とりあえず俳筋アップノート出し [作句に意欲だけは満々]

池福楼

黒毛牛カラダに悪いと黒豚に [不健康でもいいから食べた〜い]

母の手は魔法使いか塩むすび [巷ではおにぎりブームとか]



初春(1・2月)の号 兼題「喫茶店・カフェ・スナック」
イメージ写真

- 久芽さんより初春1・2月号の兼題を「喫茶店・カフェ・スナック」と出題していただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。締め切りは令和6年1月20日です。

- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2023 Sharakukai